



大規模庁舎では全国初!!

「レジリエンス強化型ZEB実証事業*1」に

伊丹市新庁舎が採択されました!

令和2年7月28日付で、環境省が実施する「レジリエンス強化型ZEB実証事業*1」に基づき、補助事業者である一般社団法人静岡県環境資源協会（会長 荒木信幸）の補助金交付先として、伊丹市の新庁舎整備事業が採択されました。床面積2万m²を超える大規模庁舎としては全国初となります。

*1:「レジリエンス強化型ZEB実証事業」とは

● 概要	災害発生時に活動拠点となる、公共性の高い業務用施設等において、再生可能エネルギー設備や蓄電池等の導入を支援し、停電時にもエネルギー供給が可能なZEB（ネット・エネルギー・ゼロ・ビルディング）の実現と普及拡大を目的とした事業で、一般社団法人静岡県環境資源協会を補助事業者とする
● 補助対象建築物	災害時に活動拠点となる公共性の高い業務用建築物であって、延べ面積10,000m ² 未満の新築民間建築物、延べ面積2,000m ² 未満の既存民間建築物、及び地方公共団体所有の建築物（面積上限なし）
● 補助要件	水害等の災害時における電源確保等に配慮された設計であること、災害発生に伴う長期の停電時においても、施設内にエネルギー供給を行うことができる再エネ設備等を導入すること等
● 補助率	補助対象経費の3分の2（上限5億円／年）
● 補助事業期間	原則単年度 ※単年度での実施が困難で延べ床面積2,000m ² 以上の建築物は3年度以内
● ZEB	ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディングの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する石油やガスなど、エネルギーの年間消費量をゼロとすることを目的とする建物 ・完全に収支がとれているものは純粋な「ZEB」 ・75%以上の削減を達成しているものが「Nearly ZEB」 ・50%以上の削減を達成しているものが「ZEB Ready」となります

伊丹市新庁舎は、最新の環境配慮設計を取り入れ、災害時にも業務継続を可能とする庁舎を目指しています。令和2年度から本体工事に着手し、令和2年11月にZEB Readyの認証取得を予定しています。新庁舎が完成する令和4年度までの3年間を補助対象期間とし、以下の設備を導入することで、国庫補助を受け、市民負担の軽減を図ることとなります。（補助金額の内訳は下表のとおり）

【導入する設備の例】

- 断熱・日射遮蔽 高断熱仕様の断熱材、高性能窓
- 空調 高効率型空冷ヒートポンプモジュールチラー
- 換気 インバータ制御ファン
- 照明 LED照明
- 再生可能エネルギー 太陽光発電設備、蓄電池

年度	対象経費	補助金額
令和2年度	554,400円	369,000円
令和3年度	356,414,780円	237,609,000円
令和4年度	1,089,812,127円	500,000,000円
合計	1,446,781,307円	737,978,000円

※上限5億円

※資材の調達状況等により増減する場合があります。